



デジタルメディアプレーヤーの導入計画

シリーズ 2 DMP:DMP-2K と SV-4K

シリーズ 3 DMP:CV-HD と CV-UHD

シリーズ 4 DMP:CV-HD2 と CV-UHD2

このモジュールでは、デジタルメディアプレーヤーを設置してプロビジョニングする前に、DMP の導入に関して検討および実施すべき点について説明します。設置担当者、ネットワーク管理者、および Cisco Vision Dynamic Signage Director 管理者が対象です。

このモジュールでは、次のトピックについて取り上げます。

- [デジタルメディアプレーヤーの導入計画のワークフロー\(43 ページ\)](#)
- [ゾーン、グループ、ロケーションの計画\(44 ページ\)](#)
- [デジタルメディアプレーヤーの TV の計画\(44 ページ\)](#)
- [ネットワークおよびスイッチの計画\(47 ページ\)](#)

デジタルメディアプレーヤーの導入計画のワークフロー

表 1(43 ページ)に、デジタルメディアプレーヤーの導入を計画する際のタスクおよび関連情報の概要を示します。

表 1 導入計画タスクの概要

計画タスク	詳細については、次の付録および項を参照してください。
グループ/ゾーン/ロケーションを計画する。	ゾーン、グループ、ロケーションの計画(44 ページ)
TV の認定を実行する。	<ul style="list-style-type: none">■ コンプライアンスにおける TV の要件(44 ページ)■ HDMI CEC 制御による TV の電源オン/オフに対する TV の認定(44 ページ)■ デジタルメディアプレーヤーでの TV およびコンテンツ解像度に関するガイドライン(45 ページ)
SV-4K および DMP-2K の設置を準備する(シリーズ 2) CV-HD および CV-UHD の設置を準備する(シリーズ 3) CV-HD2 および CV-UHD2 の設置を準備する(シリーズ 4)	<ul style="list-style-type: none">■ インストール時のバーコードスキャナと TV ラベルの使用(42 ページ)■ デジタルメディアプレーヤーの取り付けに関するガイドライン(30 ページ)
ケーブル配線の要件を決定する。	<ul style="list-style-type: none">■ DMP 導入のベストプラクティス(42 ページ)■ デジタルメディアプレーヤーのケーブルに関する情報(28 ページ)

表 1 導入計画タスクの概要(続き)

計画タスク	詳細については、次の付録および項を参照してください。
Connected Stadium スイッチの設定を計画する。	Connected Stadium スイッチの要件(48 ページ) 。
DHCP サーバの設定を計画する。	外部 DHCP サーバの要件(48 ページ) 。
ネットワーク時刻源(クロッキング)を決定する。	デジタルメディアプレーヤーで NTP と PTP を設定する方法(54 ページ) 。

ゾーン、グループ、ロケーションの計画

注:複数のメディアプレーヤーデバイスタイプを含む混合グループは推奨されません。Cisco Vision Dynamic Signage Director は、このようなグループの設定が試行されると警告を表示します。

デジタルメディアプレーヤーの TV の計画

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [コンプライアンスにおける TV の要件\(44 ページ\)](#)
- [HDMI CEC 制御による TV の電源オン/オフに対する TV の認定\(44 ページ\)](#)
- [デジタルメディアプレーヤーでの TV およびコンテンツ解像度に関するガイドライン\(45 ページ\)](#)
- [デジタルメディアプレーヤーでの TV ディスプレイ仕様に関する制限事項\(45 ページ\)](#)
- [解像度のディスプレイ仕様の設定\(45 ページ\)](#)

コンプライアンスにおける TV の要件

デジタルメディアプレーヤーで最適なエクスペリエンスを実現するには、ご利用の TV ディスプレイが次の仕様と解像度に準拠していることを確認します。

- 高帯域幅デジタルコンテンツ保護(HDCP)
- 高精細度マルチメディアインターフェイス(HDMI)
- HDMI Consumer Electronics Control(CEC) TV 制御に必要な場合)
- RS-232 シリアルインターフェイス(必要に応じて)
- HD または UHD 対応ディスプレイ

HDMI CEC 制御による TV の電源オン/オフに対する TV の認定

Cisco DMP で新しい [Display Specifications] 設定を使用したユニバーサル TV の電源オン/オフ HDMI CEC コマンドがサポートされるようになりました。これにより、HDMI CEC で次の 3 つの TV 機能を制御できます。

- 電源オン/オフ
- 再起動
- 更新

HDMI CEC TV コントロールを有効にすると、TV の制御機能に HDMI CEC が RS-232 に代わって使用されます。このパラメータの使用と設定については、『[Cisco Vision Dynamic Signage Director Operations Guide, Release 6.2](#)』の「[Configuring HDMI-CEC TV Control in TV Display Specifications](#)」を参照してください。

注:一部のTVは標準HDMI CECコマンドをサポートしていません。設置を予定しているTVモデルをテストしてHDMI CECに対応しているかを確認し、HDMI CECを有効にしてください。TVメーカーは、CECをそれぞれの商標名で呼んでいます。(例:Anynet+ [Samsung]、BRAVIA Link [Sony]、EasyLink [Phillips]、およびSimpLink [LG])。

Cisco Vision Dynamic Signage Directorでテスト済みの一部のTVモデルについては、『[Release Notes for Cisco Vision Dynamic Signage Director, Release 6.2](#)』を参照してください。

デジタルメディアプレーヤーでのTVおよびコンテンツ解像度に関するガイドライン

DMPは、ランタイムソフトウェアでフル高解像度(HD)1920x1080モードで動作するように設定されます。

注:少なくとも1080pHD解像度をサポートしているTVの使用を強くお勧めします。解像度が低いディスプレイでは、Cisco Vision Dynamic Signage Directorで追加のTVディスプレイ仕様設定を行い、ディスプレイの最適化を試みる必要が生じる場合があります。場合によっては、これらのTVでは画像サイズが変更されるのではなく、画面の一部が切り取られる可能性があります。

DMPのビデオおよびグラフィック表示の品質と予期される解像度には、次のような要素が影響する場合があります。

- TVディスプレイの解像度と1080pにネゴシエートする機能。
- Cisco Vision Dynamic Signage Director UIの[Configuration] > [Devices] > [Display Specifications] > [Display Parameters]領域の**sv4k.videoMode**シリアルコマンド設定。
 - 解像度を設定すると、この値によってDMPの信号解像度が指定されます。
 - 解像度を自動検出に設定した場合、TVでネゴシエーションがサポートされていれば、TVがDMPとの信号解像度のネゴシエーションを実行します。

注:UHDディスプレイを使用する場合は、TVの[Display Specification]の**sv4k.videoMode**シリアルコマンドで固定解像度の値「3840x2160x60p」を設定する必要があります。

- テンプレートのリージョンサイズ。
- 元のグラフィックのサイズと、拡大縮小が必要かどうか。

注:コンテンツとテンプレートのガイドラインの詳細については、『[Cisco Vision Content Planning and Specification Guide: Dynamic Signage Director, Release 6.2](#)』を参照してください。

デジタルメディアプレーヤーでのTVディスプレイ仕様に関する制限事項

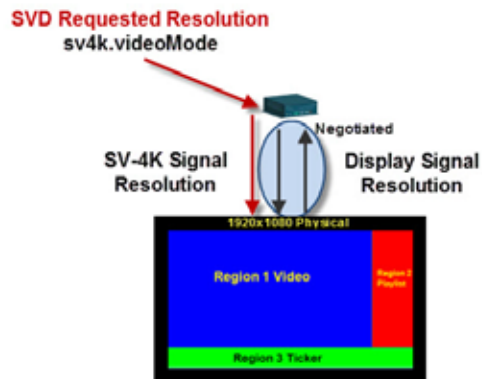
デジタルメディアプレーヤーで使用するTVディスプレイ仕様を設定する前に、次の制限事項を考慮してください。

- 次の基本情報オプションはサポートされません。
 - X位置(X Position)Y位置(Y Position)
 - Xスケーリング(X Scaling)Yスケーリング(Y Scaling)

解像度のディスプレイ仕様の設定

TVのディスプレイ仕様は、TVによる解像度の自動検出向けに設定するか、固定解像度に設定できます。Cisco Vision Dynamic Signage Director UIで[Configuration] > [Devices] > [Display Specifications]に移動します。

図 1 ディスプレイの信号解像度



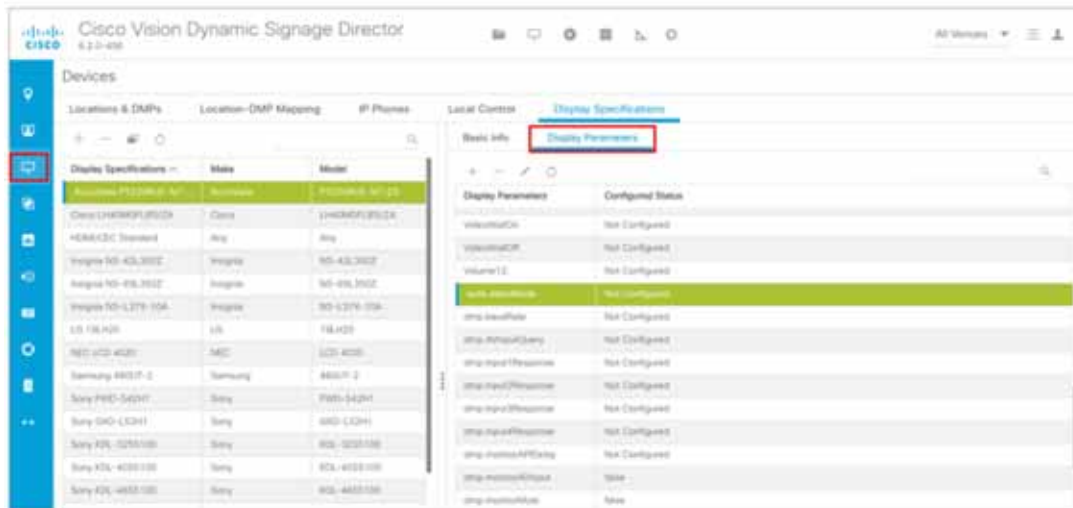
- 解像度を自動検出に設定した場合、TV で自動ネゴシエーションがサポートされていれば、TV と DMP が信号解像度のネゴシエーションを実行します(図 1(46 ページ))。
- 解像度が Cisco Vision Director UI で指定されている場合、コンテンツはその設定に応じてサイズ変更されます。 図 1(46 ページ)で赤色で示されている DMP の要求信号解像度がこれに該当します。
- DMP の信号解像度が何らかの理由で 1920x1080 未満に設定されている場合、ビデオ コンテンツは使用中のテンプレートに従ってサイズ変更されます。
- 使用中のテンプレートと対応するコンテンツは、信号解像度に一致する必要があります。

注:sv4k.videoMode ディスプレイ パラメータは縦方向モードの使用には関係なく、設定する必要はありません。さらに、sv4k.videoMode では特定の値のみがサポートされ、その他の値に変更することはできません(表 2(47 ページ))。縦方向モードの有効化と設定は、dmp.portrait ディスプレイ パラメータでのみ実行できます。ただし、縦方向モードのコンテンツを準備する場合は、縦 1920 ピクセルの横 1080 ピクセルでコンテンツを作成する必要があります。縦方向モードを使用しても、デフォルトのテンプレートキャンバスは引き続き横向きに表示されますが、キャンバスを超える領域を追加できます。

ディスプレイの解像度を設定する手順は次のとおりです。

1. [Configuration] > [Devices] > [Display Specifications] に移動します。
2. 設定する TV を選択します。
3. [Display Parameters] タブをクリックします。
4. sv4k.videoMode コマンド(図 2(47 ページ))を見つけて選択します。

図 2 [Display Specifications] での解像度設定



5. [Edit] (鉛筆アイコン) をクリックして、[Configured Status] フィールドに仕様を追加します。目的の解像度の動作に応じて、表 2 (47 ページ) の値のいずれかを指定します。

表 2 DMP 解像度の値

sv4k.videoMode 値 ¹	解像度
3840x2160x60p ²	2160p 固定
1920x1080x60p	1080p 固定
1280x720x60p	720p 固定
Not Configured	自動検出
Auto	自動検出

1. この表に記載されている値以外は使用しないでください。縦方向モードをサポートするために特定の sv4k.videoMode 解像度は必要ありません。縦方向モードは、dmp.portrait ディスプレイ パラメータでのみ設定できます。
2. この仕様は、リリース 4.1 の 4K TV ディスプレイを使用する場合に必要です。

6. [Save] をクリックします。

7. DMP をリポートします。

ネットワークおよびスイッチの計画

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- 外部 DHCP サーバの要件 (48 ページ)
- Connected Stadium スイッチの要件 (48 ページ)

外部 DHCP サーバの要件

デジタルメディアプレーヤーでは、デバイスに IP アドレッシングを提供するように外部 DHCP サーバを設定する必要があります。このサービスは、Cisco Prime Network Registrar (CPNR) または既存の別の外部サーバを使用して設定できます。

ここでは、DHCP 設定を計画する際の重要な要件をいくつか取り上げます。ただし、設定を実行するための詳細情報をすべて網羅しているわけではありません。

注: DHCP 設定の詳細については、Cisco Vision 認定パートナーが利用できる『[Cisco Vision Dynamic Signage Solution Operation and Network Requirements](#)』を参照してください。

デジタルメディアプレーヤーでの DHCP 設定時の注意事項

DMP の DHCP サーバを設定する前に、次の注意事項を考慮してください。

- Connected Stadium スイッチを Cisco Vision Dynamic Signage Director の IOS DHCP サーバとして設定しないでください。
- DHCP サーバに DMP デバイスに対する IP アドレスの無期限リースが設定されていることを確認してください。
- メディアプレーヤーの混合モデルの導入をサポートしている場合は、モデルごとにオプション 60 文字列を設定します。
- DHCP サーバで DHCP プールあたりのオプション 43 文字列が 1 つに制限されている場合 (Cisco DHCP サーバを使用した場合など) は、メディアプレーヤーモデルごとに個別の DHCP スコープを設定します。
- オプション 60 が必要な DHCP サーバの場合は、DHCP オプション 60 (ベンダー クラス識別子文字列) を設定します。
 - CV-HD2 グローバル文字列: “Cisco CV-HD2”
 - CV-UHD2: “Cisco CV-UHD2”
 - CV-HD グローバル文字列: “Cisco CV-HD”
 - CV-UHD グローバル文字列: “Cisco CV-UHD”
 - Wi-Fi 付き CV-UHD グローバル文字列: “Cisco CV-UHD-WiFi”
 - 新しいデバイスの工場出荷時の DMP-2K 文字列: “Cisco DMP-2K”
 - 北米用の SV-4K 文字列: “Cisco SV-4K-NA”
 - その他のすべての地域用の SV-4K 文字列: “Cisco SV-4K-ROW”
- 変換された DHCP オプション 43 (ベンダー固有オプションの URL) を設定します。

`http://x.x.x.x:8080/StadiumVision/dmp_v4/scripts/boot.brs`

「x.x.x.x」は Dynamic Signage Director サーバの IP アドレスです。

注: オプション 43 文字列は DMP との互換性を確保するために TLV 形式に変換する必要があります。詳細については、[付録 C: デジタルメディアプレーヤーをサポートするように IOS DHCP サーバを設定する \(81 ページ\)](#) を参照してください。

Connected Stadium スイッチの要件

ここでは、Connected Stadium スイッチの設定を計画する際の重要な要件をいくつか取り上げます。ただし、設定を実行するための詳細情報をすべて網羅しているわけではありません。設定の詳細については、Cisco Vision 認定パートナーが利用できる『[Cisco Vision Dynamic Signage Solution Operation and Network Requirements](#)』を参照してください。

デジタルメディアプレーヤーでのスイッチの設定要件

Connected Stadium スイッチが次の設定要件を満たし、デジタルメディアプレーヤーの導入をサポートしていることを確認してください。

- SV-4K、CV-UHD、および CV-UHD2: ポート電力が 30 W の PoE+(IEEE 802.3at)をサポートしている。
- DMP-2K、CV-HD、および CV-HD2: ポート電力が 15 W の PoE+(IEEE 802.at)をサポートしている。
- Internet Group Management Protocol(IGMP)が設定されている。
- IGMPv2 および IGMPv3 がサポートされている。
- PoE+ を使用して利用可能な電力を特定するために必要な Link Layer Discovery Protocol(LLDP)が設定され、さらに IOS 都市ロケーション機能がサポートされている。

注: スイッチの設定の詳細については、Cisco Vision 認定パートナーが利用できる『[Cisco Vision Dynamic Signage Solution Operation and Network Requirements](#)』を参照してください。

注: 15 W のみを使用できる場合、USB ポートの I/O 機能は維持されますが、電力出力が 100 mA/ポートに制限されます。さらに、HDMI-In はサポートされず、グラフィックのパフォーマンスが低下します。

